

## 2024年7月 旅行取扱高状況報告

< 日本国内における旅行区分別取扱高 >

(単位：千円)

区分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比	2019年同月取扱高	2019年同月比
海外旅行	20,035,507	20,014,048	100.1%	31,146,960	64.3%
国内旅行	5,171,128	5,369,698	96.3%	5,265,358	98.2%
訪日旅行	1,046,140	647,978	161.4%	2,844,125	36.8%
合計	26,252,776	26,031,724	100.8%	39,256,444	66.9%

※株式会社エイチ・アイ・エス及びグループ5社（株式会社オリオンツアー、株式会社クオリタ、株式会社クルーズプラネット、株式会社ジャパンホリデートラベル、株式会社エイチ・アイ・エス沖縄）の社内取引を相殺した旧会計基準の取扱高となります。また、コロナ以前と比較をするとともに、2019年同月比を記載しております。

### ■海外旅行

引き続き「SUPER SUMMER SALE! FINAL 2024」を展開し、本格化した夏の旅行シーズンの集客に努めたほか、需要が高まるファミリー層に向けて、人気方面のハワイでお子様人気の高い、アウラニ・ディズニー・リゾートでのHISだけの特別企画「ディズニーキャラクター・ランチパーティー」付きの商品展開を図るなど、需要獲得に努めました。

7月出発の動向においては、韓国が引き続き好調に推移しており、取扱高で3ヶ月連続2019年同月を上回り、送客数でも女性層・ファミリー層を中心に全体の3割強を占める結果となりました。

以上の結果、海外旅行取扱高は、前年同月比100.1%、2019年同月比64.3%の200億3,550万円となりました。

### < 海外旅行取扱高 方面別・商品別・チャネル別データ >

方面別	2019年同月比
アジア	67.2%
オセアニア・南太平洋	79.9%
ハワイ・ミクロネシア	31.2%
欧州・中近東・アフリカ	89.8%
北米・中南米	76.2%

商品別	2019年同月比
手配旅行	69.3%
企画旅行	57.6%

チャネル別	2019年同月比
店舗	52.5%
オンライン	81.8%

### ■国内旅行

全国各地で記録的な猛暑が続く中、ベストシーズンを迎える北海道が、札幌滞在ツアーお申込みでご利用頂ける期間限定の無料観光バスなどの施策が奏功し、前年同月比96.1%、2019年同月比101.9%と好調に推移しました。また、商品種別においてはバスツアーが好調に推移しており、中でも山梨県・桃狩り食べ放題のバスツアーをはじめ、夏のフルーツを絡めたツアーが人気を博し、前年同月比107.7%、2019年同月比148.4%と好調に推移しました。

以上の結果、国内旅行取扱高は、前年同月比96.3%、2019年同月比98.2%の51億7,112万円となりました。

### ■訪日旅行

HIS オランダ法人など欧州からの団体旅行の受客が取扱高を牽引しました。個人旅行では、自社主催のバスツアーが好調に推移しており、中でも富士山登山や芦ノ湖花火鑑賞などのシーズン商品や、富士山近隣の観光地を絡めた商品が伸長したほか、大相撲名古屋場所（7月16日～28日）を絡めた商品においては、設定数が完売するなど高い人気をみせました。中国マーケットに関しては、団体ツアーの動向が徐々に動きは見せるものの、本格的な回復には至っておりません。

以上の結果、訪日旅行取扱高は、前年同月比161.4%、2019年同月比36.8%の10億4,614万円となりました。

2024年7月の日本国内における旅行取扱高合計は、前年同月比100.8%、2019年同月比66.9%の262億5,277万円となりました。

## 2024年7月 海外における旅行取扱高状況報告

&lt; 海外における旅行区分別 &gt;

(単位：千円)

区分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比	2019年同月取扱高	2019年同月比
インバウンド	14,423,647	12,141,325	118.8%	18,051,773	79.9%
アウトバウンド	12,931,015	14,528,012	89.0%	13,434,467	96.3%
合計	27,354,661	26,669,337	102.6%	31,486,240	86.9%

※エイチ・アイ・エス海外現地法人 35 社と海外子会社 4 ブランド (MIKI グループ、MERIT TRAVEL、JONVIEW CANADA、RED LABEL VACATIONS) の社内取引相殺前の取扱高となります。また、2019 年度は旧会計基準、2024 年度のツアー商品は「進行日」、手配旅行は「手配完了日」に計上基準を変更した参考値となります。また、コロナ以前と比較するため、2019 年同月比を記載しております。なお、為替換算レートにつきましては、期中平均レートにて算出しております。

※海外におけるインバウンドとは、各海外拠点における旅行受客業務の取扱高。 海外におけるアウトバウンドとは、各海外拠点における旅行送客業務の取扱高。

## ■ 海外インバウンド

オーストラリア法人では、日本からのパッケージツアーによるレジャー需要の回復とともに、ゴールドコーストマラソンといったイベント需要を取り込み、前年同月比 123.8%、2019 年同月比 86.3%となりました。また、ドイツ法人では、日本の夏休みに合わせ、ノイシュバンシュタイン城やバイロイト音楽祭などのオプションツアーの販売が人気を博し、前年同月比 110.8%、2019 年同月比 329.2%となりました。

カナダ法人のインバウンド部門である「JONVIEW CANADA (※1)」は、カナダのアルバータ州ジャスパー地域における山火事の影響を一部受けたものの、ヨーロッパからのパッケージツアーの受客積み上げもあり、前年同月比 101.3%、2019 年同月比 123.4%で推移しています。

以上の結果、海外インバウンド取扱高は、前年同月比 118.8%、2019 年同月比 79.9%の 144 億 2,364 万円となりました。

## ■ 海外アウトバウンド

オランダ法人は、旅行需要回復とパッケージシーズンが重なり、B2B におけるファミリー層の送客数が伸び、前年同月比 208.5%、2019 年度同月比 428.6%と好調に推移しました。また、トルコ法人では、現地企業からの MICE に関わる日本、ヨーロッパ、中東、アフリカ行きの出張手配が取扱高に貢献し、前年同月比 110.3%、2019 年同月比 308.3%となりました。

一方、海外アウトバウンド事業を牽引する、カナダ法人のアウトバウンド部門の「RED LABEL VACATIONS (※2)」は、引き続きカナダにおける旅行需要が鈍化傾向にあるものの、中米やカナダ国内など近場への間際の予約を取り込み、取扱高は前年同月比 85.6%、2019 年度同月比 111.7%と着地しました。

以上の結果、海外アウトバウンド取扱高は、前年同月比 89.0%、2019 年同月比 96.3%の 129 億 3,101 万円となりました。

2024 年 7 月の海外の旅行事業取扱高合計は、前年同月比 102.6%、2019 年同月比 86.9%の 273 億 5,466 万円となりました。

(※1) JONVIEW CANADA (連結対象：2017 年 12 月～)

カナダを代表するツアーオペレーターとして、欧州からの受客を中心にインバウンド事業を展開。世界中の旅行業向けの商品やサービスを多数提供し、30 年以上にわたり事業展開する中で、カナダ国内の 2,000 以上を超えるサプライヤーと提携。

2023 年 8 月より HIS グループカナダ法人「HIS Canada Travel」として合併。

(※2) RED LABEL VACATIONS (連結対象：2019 年 3 月～)

カナダを拠点にオンライン旅行販売とホールセラー事業を通じてアウトバウンド事業を展開。オンライン販売のブランド (redtag.ca と itravel2000.com) を通じて、世界中のパッケージツアー、フライト、ホテル、周遊など、多様な旅行商品を提供。ホールセラーとしては、カナダの旅行代理店にあらゆる旅行商材を提供。

2023 年 8 月より HIS グループカナダ法人「HIS Canada Travel」として合併。

## 本件に関するお問い合わせ先

株式会社エイチ・アイ・エス I R室：050-1746-4188  
広報室：050-1746-4177